

令和3年2月8日
資料提供
産業技術政策課 湯川、乗（くわ）
073-441-2354

出前授業「燃える氷?!メタンハイドレートを知ろう!」の開催について

海洋エネルギーに関する取り組みについて、将来を担う若い世代にも関心を持っていただくため、県では、次世代のエネルギー資源と言われるメタンハイドレートに関する出前授業を開催いたします。

メタンハイドレートは、天然ガスの主成分であるメタンガスと水が低温・高圧の状態に結晶化した氷状の物質で、日本周辺の海底に多く賦存していると言われております。現在、海底からメタンハイドレートを取り出し、エネルギー資源として利用するための技術開発が世界中で進められています。

このメタンハイドレートが和歌山県沖にも存在すると考えられており、県では平成24年度から毎年賦存状況調査を行っています。

記

- 1 日 時 令和3年2月15日（月） 13:10~15:40
- 2 場 所 和歌山県立向陽中学校（和歌山市太田127）
①は視聴覚室、②は理科室で燃焼実験、生物室で新エネルギーについての授業を行います。
- 3 主 催 和歌山県
- 4 参 加 者 和歌山県立向陽中学校の生徒（80名）
- 5 内 容
① 13:10~14:20
メタンハイドレートと和歌山県沖での調査について（仮）
（大）東京海洋大学 准教授 青山 千春氏（リモートでのご講演となります）

② 14:30~15:40
メタンハイドレートの燃焼実験
（独）国立高等専門学校機構和歌山工業高等専門学校 教授 綱島 克彦氏

新エネルギーについて
和歌山県 産業技術政策課
※40名ずつ前半・後半に分かれ、燃焼実験を行います。実験をしていないクラスには、新エネルギーに関する授業等を行います。
- 6 そ の 他 取材にお越しいただける方は、2月12日（金）までに、産業技術政策課まで、電話もしくはFAXでお申し込みください。